



竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

戦死した実父への思い

私の実父母は大阪で呉服商をいとなんでいた。私には兄と姉がいて、私は末子である。私は五才になったばかりの頃、叔父（実母の弟）が住職をしてしている寺へ養子に來た。この仲介をしたのは祖父である。祖父は大阪の、私の実家（呉服店）へ幾度となく來ていた。そのたびに、香川のめずらしい土産を持って來た。最後に來た時には、ガラス製の美しい金魚鉢に数匹の金魚を入れてもって來た、私はその金魚が大変めずらしく、美しく見えた。そして祖父が「田舎へ行くか」と声をかけてきた。私は「行く」と返事をしたのである。

それから、実父夫婦は、野球観戦、映画、劇場、天王寺公園等へ家族を連れて行った。五才になったばかりの私には、めずらしさはあったものの野球などは全くわからなく、プロ野球か、中学校野球かも分からなかったが、盗塁の上手な選手がいたことは意識の底に残っている。ヒットを打って一塁に出た選手、「この選手は足が速いぞ、二塁へ盗塁するぞ」と父が言った。そして盗塁成功、「三塁も盗塁するぞ」と父が言った。二塁のそのランナーに瞬時、注意を集中した。間一髪、何球かめ、三塁盗塁が成功したのを今でも記憶の底に焼きつけている。また、海水浴場へも波が高くて、水を飲みそうになったこと。

そして、田舎の叔父の寺へ旅立ちの日、祖父が迎えに來た。実家の家族全員で、大阪駅まで送り出してくれた。私は、あの大切な金魚鉢をさげて出発した。初めて乗る、めずらしい長い列車、また、大きな連絡船、そして、高松港からタクシー、叔父の寺へ、大阪の街筋とは全く異なり、静寂で、藪があり、森があり、大きな建物、養父母は和やかな表情で菓子等をもって迎えてくれた。祖父も、二、三日寺で一緒にいてくれた、祖父が三木町の実家へ帰ったあと、急に淋しくなった。しかし当時は寺が子供の遊び場であった。境内でかくれんぼ、木登り、せみとり、雀の子とり、池での魚とり、等子供にとっては楽しいことが多くあった。また、養父母も近所の子供が集まりやすいように絵本、マンガ等を買ってくれた。

小学校一年生の十二月（昭和十六年十二月八日）太平洋戦争勃発、小学校二年生の時、実父は軍族に志願した。軍でも被服の仕事を続けたい思いからのことであつたのであろう実父は入隊するまでのあわただしい時間の中養母の実家を訪ねている。養母の兄に会って入隊して行った。私とは会えなかつた。限られた時間内で、幼い私のために最良のことを考へての行動であつたと思う。この事を養母の兄は寺まで來て、私や養父母の前で話してくれた。私は温かい思いやりに満たされた。

実父はトラック島に派遣された。南洋群島守備日本海軍の根拠地であつた。そのため昭和十九年二月、米軍の大爆撃を受け、多数の死傷者が出た。実父も瀕死の重傷を負い、病院船で日本へ送り返される途中、米軍の魚雷攻撃を受け、沈没寸前で広島港にたどり着いた。実父は九死に一生を得て広島島の陸軍病院へ運びこまれた。母、兄、姉は病院まで行って会っている。私は米軍の空襲が激しい時期であつたので会うことができず、実父はなくなつていった。

私の寺には、戦死者の墓は一箇所にまとめてある。わずか五十戸ばかりの自治会に戦死者の墓が八箇所もある。私と実父のように互いに思いを馳せながら会うこともなく、言葉をかけ合うこともなくなつていった多くの人たちがいる。それが戦争である。

「介護実技勉強会」

特養介護主任 氏家 宏子



2月20日に舜虹苑職員全員で介護実技勉強会を実施しました。10月から「ノーリフティングケア」の研修に参加している2名の職員が講師となり、介護される側、する側双方において安全で安心して抱き上げない・引きずらないケアを目指す介護技術を体験しました。又、新たに改良したソフト食を試食したり、「地震が起きたらどうする」をテーマにグループに分かれての話合いを行いました。今後起きるとされている南海トラフ地震に備えての意識付け、マニュアルの再確認を行う上で良い機会となりました。今後も利用者様が安心して生活が送れるように勉強会を行っていききたいと計画しております。



ノーリフティングでの介助方法



オレンジのグローブを着けての介助方法



ソフト食のメニュー
肉じゃが 野菜サラダ 煮豆



新しいソフト食の試食

苑内行事



音楽療法



消火訓練



ケアハウス便り



雑祭り



香南園芸センターに梅見物ハ



ドッグセラピー



滝宮天満宮に梅見物ハ



社会福祉法人竜雲学園
竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム
短期入所サービス
通所介護サービス
認知症型通所サービス
訪問介護サービス
老人介護支援センター
ケアハウス

〒761-8078
高松市仏生山町甲 3100 番地 2
TEL:087-888-5800
FAX:087-889-1004

「物故者法要について」

特養生活相談員 福家 有加

舜虹苑では、3月8日に今年度ご逝去された方々のご冥福をお祈りするため、法然寺の細井孝治上人をお招きして物故者法要が行われました。

物故者法要は、舜虹苑の各事業所でご縁のあった利用者様を対象に行われています。利用者様お一人お一人の名前を呼び上げられるとその方のお顔が思い出されました。ご冥福をお祈り致します。

「ヘルパー休止のお知らせ」

平成30年3月31日を持ちましてヘルパー事業を休止することになりました。

平成10年よりの御愛顧、誠にありがとうございました。

